



令和8年4月吉日

学校長：山城 篤（やましる あつし）

学校長あいさつ

沖縄県立八重山農林高等学校のホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

本校は昭和12年の開校以来、「愛郷愛土（ふるさとを愛し、土地を愛する）」の精神を礎に、八重山の自然とともに歩みながら、地域社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいりました。校章に象徴される「瑞穂と大地」の理念のもと、生徒一人ひとりが大地に根を張り、たくましく成長することを願い、日々の教育活動を展開しています。

本校は、農業教育を基盤としながら、「高校は社会への出口ではなく、社会への入口である」という考えを大切にしています。生徒が在学中から地域や社会とつながり、自らの在り方・生き方を考えながら進路を主体的に選択できる力を育てることを目指しています。アグリフード科、グリーンライフ科、フードプロデュース科、ライフスキル科の4学科において、それぞれの専門性を生かした学びを展開し、6次産業化学習や地域連携活動を通して、実践的な力を身につけています。

本校の学びの大きな特色は、「五感を使ったリアルな体験」です。土の匂いを感じ、作物や家畜の成長に触れ、人と関わりながら学ぶ中で、生徒は知識や技術だけでなく、命の尊さや働くことの意味を実感していきます。こうした体験の積み重ねが、豊かな人間性と確かな職業観・勤労観の育成につながっています。

また、生徒たちは地域との関わりの中で大きく成長しています。商品開発や販売実習、地域行事への参加、関係機関との連携による取組などを通して、学びを社会に還元し、地域の一員としての自覚を深めています。そうした中で見せる主体的な姿や、小さな挑戦の積み重ねこそが、本校の教育の成果であると感じています。

さらに、本校では「自分の行動に責任を持ち、自他を尊重する生徒」の育成を掲げ、心理的に安心して学ぶことができる環境づくりにも力を入れています。生徒一人ひとりの変化や成長に丁寧に向き合い、挑戦と振り返りを大切にすることで、学び続ける力を育てています。

これからも八重山農林高校は、地域に根ざし、地域とともに成長する学校として、生徒の可能性を最大限に引き出し、未来を切り拓く力を育ててまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

これからも本校は、地域とともに歩みながら、生徒一人ひとりの未来を切り拓いてまいります。

「未来へ 夢を描き 地域と拓く」